

光SFPマイクロプローブ PacketPortal® Intelligence Visibility PPIV 1G & 10G

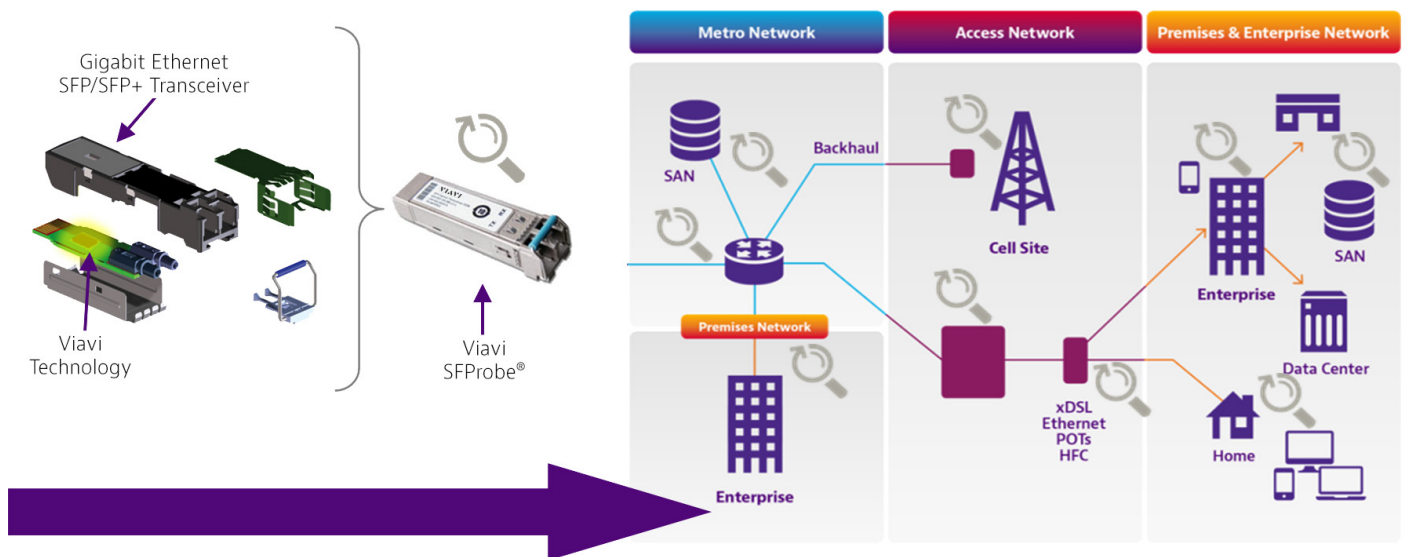


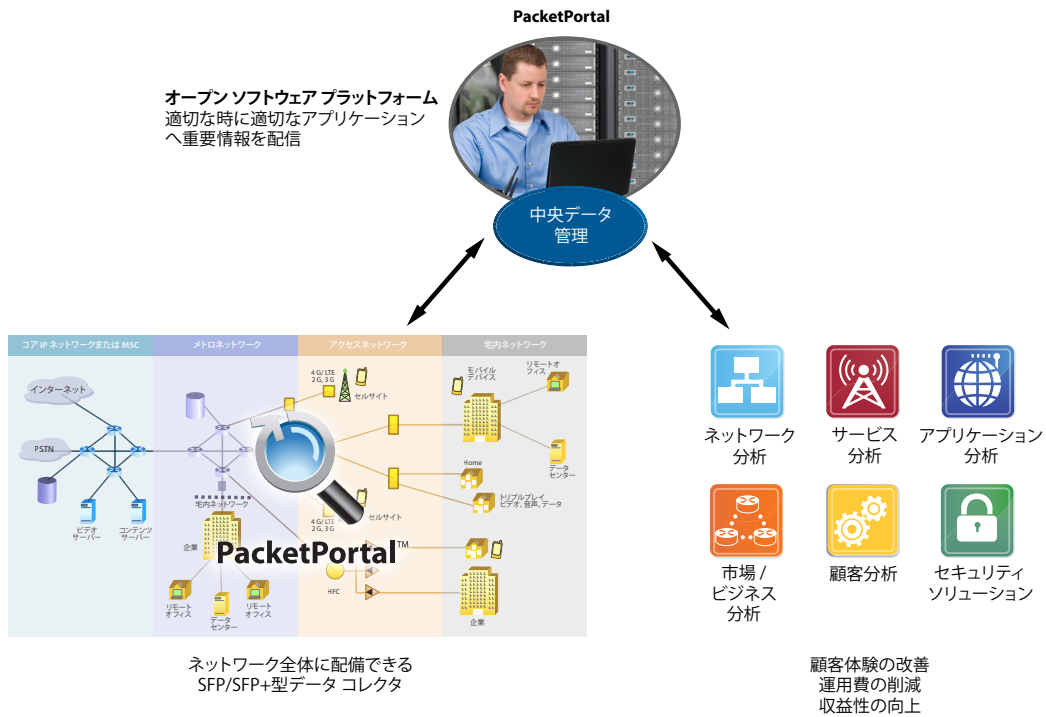
汎用の光SFP/SFP+に、パケットプローブ機能をビルトイン

- SFP/SFP+を通過する上り下りの任意パケットをフィルタリング->コピー、又はカウント
- コピーされたデータをカプセリング、インラインを経由してNorthboundへデータフィード
- ネットワークのエッジからコアまで、あらゆる1G/10G 光インタフェースに設置可能(全二重フルワイヤレート、SFP-MSA、各種SFP向け認証取得)

導入効果

- 遠隔地からのトラブルシュートを実現、現場駆付け作業の機会を低減“OPEXの削減”
- 高価なアプライアンス型NWプローブの代替“CAPEXの削減”
- タッピング、ミラーポート、場所電力が不要“CAPEX/OPEXの削減”
- 低コストで多拠点に設置、活きたトラフィックトレンドの把握と全体最適化“CSの向上”





動作メカニズム

- ノーマルなSFP/SFP+としても動作。Viavi独自プロトコルを利用して、リアルタイムに機能をアクティベーション、フィルタ条件を設定
- 帯域の混雑度を自動認識、データフィードのタイミングを調節(他トラフィックへの影響を配慮した設計)
- 複数のキャプチャロットをマルチに設定、実行
- キャプチャ機能
 - キャプチャ領域をフレームレベルでユーザ定義(ヘッダスライス、ペイロード込み等)
- カウント機能
 - SFPを通過するデータを種別/サイズ毎にフィルタ/カウント
 - 遅延情報の取得、バーストトラフィックカウント、SFP Health Info (Temp, Voltage, Power)

ユーズモデル

- 1G/10G パケットキャプチャ: 障害発生箇所より生パケットを収集、Wiresharkを用いてトラブルシューティング
- フローベースのパケットキャプチャ: 特定フローの品質解析、SDNコントロールプレーンのルートをトレース
- リアルタイムSLA/KPIモニタ: KPIが閾値を越え次第、任意のパケットをキャプチャ
- セキュリティ対策: セキュリティアプライアンスと連携、異常な振る舞いのIP/ポートをキャプチャ(ICMP侵入検知、DDoS対策)



〒163-1107
東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワーF

電話: 03-5339-6886
ファックス: 03-5339-6889
Email: support.japan@viavisolutions.com

© 2016 Viavi Solutions Inc.
この文書に記載されている製品仕様および内容は予告
なく変更されることがあります
ppiv1g10g-ps-nsd-nse-ja
30179735 000 0516